

審査した主なもの

総務文教常任委員会・分科会

- 令和6年度八女市一般会計補正予算(第4号)……………【全会一致で可決】
- ・消防関係施設設備等整備事業……………1760万円
- ・小学校器具購入費……………107万円
- ・不登校対策校内支援充実事業……………129万円
- ・学びの館維持管理事業……………66万円
- 令和5年度八女市各会計歳入歳出決算認定……………【賛成多数で認定】

厚生常任委員会・分科会

- 令和6年度八女市一般会計補正予算(第4号)……………【全会一致で可決】
- ・新型コロナウイルスワクチン接種事業……………7855万円
- 令和5年度八女市各会計歳入歳出決算認定……………【賛成多数で認定】

建設経済常任委員会・分科会

- 令和6年度八女市一般会計補正予算(第4号)……………【全会一致で可決】
- ・ふるさと支援寄附事業……………6億1250万円
- ・農業振興事業費補助事業……………55万円
- ・県補助畜産振興事業……………172万円
- ・県営中山間地域総合整備事業……………1056万円
- ・農地地すべり対策事業……………900万円
- 令和5年度八女市各会計歳入歳出決算認定……………【全会一致で認定】
- 令和5年度八女市水道事業会計決算認定……………【全会一致で認定】
- 令和5年度八女市下水道事業会計決算認定……………【全会一致で認定】

総務文教常任委員会・分科会で審査

不登校対策校内支援 充実事業

問 何年間の事業を予定しているのか。

答 県としては3年間を予定していると聞いている。

問 学校の教員の充実が出来ていないことが不登校の原因となっているのか。

答 不登校の理由はそれぞれのケースごとにある。学校によつては、教育支援センターの役割を果たす別室

登校用の部屋を準備しているところもある。部屋にはいつだれが来ても良いように教員が常駐するのが最善ではあるが、教員が定数配置されている学校でさえもそこまでの余裕はない。この事業により対応できる教員が増えることとなる。

庁舎建設事業

問 旧庁舎の解体工事にお

いて、アスベストの除去に時間を要するため、工期を延長するということだが予測できたことではないのか。

答 令和3年度以降、段階的に法令が厳しくなり、設計時より複雑で高度な対応が必要となったため、工期延長の見込みとなった。

消防関係施設設備等 整備事業

問 耐震性貯水槽はどこに設置するのか。

答 奥矢部別邸やべのりの駐車場内及び殊正寺地区の集落内に設置する。



厚生常任委員会・分科会で審査

新型コロナウイルス

ワクチン接種事業

問 接種勧奨は行うのか。

答 B類疾病となり重症化予防が目的の予防接種のため、接種勧奨は行わない。制度を周知し、希望者が接種できる体制を整えていく。

問 接種の期限はあるのか。

答 国の予防接種法で10月1日～3月末のうち、自治体の定める期間となる。ワクチンの出回る時期にもよるが、10月初旬からの実施を予定している。

問 ワクチンの種類は。

答 国に申請している5社のうち、モデルナ社、ファイザー社、第一三共社の3社は流通までの承認が完了している。市からの指定はせず、個々の実施医療機関で決定する。

令和5年度八女市各会計

歳入歳出決算認定

ひきこもり支援推進事業

問 精神対話士の活動内容は。

答 月2回、ほっと館やめで無料相談を行っていている。相談件数は72件であった。

清掃総務事業

問 プラスチックごみの資源化についての考えは。

答 筑後市や大木町が実施しているが、市では分別方法などの課題について、広川町や県とも検討委員会を開き検討している。



建設経済常任委員会・分科会で審査

県営中山間地域総合

整備事業

問 事業の概要と奥八女西部地区とはどのような地域か。

答 奥八女西部地区とは黒木地区と立花地区である。事業の概要は黒木地区が農道整備3カ所、水路整備2カ所、立花地区が農道整備1カ所、水路整備2カ所、水門整備8カ所、営農飲雑用水1カ所、合計17カ所である。

問 行政区での道路河川愛護活動は限界がきている。今後の市の考えは。

答 道路河川愛護活動や市の発注工事での対応にも限界を感じており根本的な見直しが必要と考えている。市が道路管理者として行う場合、財政面の課題もある。



来年度の予算要求に向け報奨金制度を見直したい。
令和5年度八女市各会計歳入歳出決算認定
交通安全施設費

問 冬場にカーブミラーが霜で見えない箇所を多く見かけるが調査はしているのか。

答 各支所と連携し危険箇所の把握を行なっている。蓄熱式カーブミラーの設置も念頭に置き予算要求につなげていきたい。